平成26年度

生物多様性学術研究発表会のご案内

入場無料
予約・申込不要

皆様へ

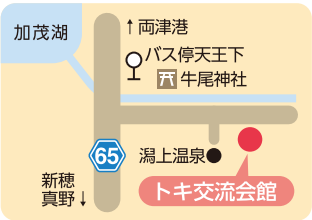
トキの野生復帰をきっかけとして、佐渡市では、生きものを育む農法をはじめ環境保全型農業への転換が進み、その取り組みは市内全域へ浸透しつつあります。

また、今年は、環境省が「トキ野生復帰環境再生ビジョン」で掲げた「2015年頃に、佐渡に60羽のトキを定着させる」という目標達成検証年となります。市では、同ビジョンに向けて「人とトキが共生できる社会」の実現をめざし、その取り組みの一環としてこの研究発表会を行っています。

お誘いあわせのうえご来場いただき、佐渡が元気になるためのノウハウやヒントを吸収し、各地域での取り組みにお役立てください。

とき
平成27年
2/28（土）
13:30～16:00

会場
トキ交流会館 大ホール
佐渡市新穂潟上1101-1
（潟上温泉隣）



内容
平成26年度に佐渡市生物多様性学術研究等奨励事業に採択された11組の大学生等によるトキの野生復帰をはじめとした生物多様性に係る研究成果の発表

主催：佐渡市

お問い合わせ　佐渡市農林水産課 生物多様性推進室トキ政策係（トキ交流会館）　TEL：24-6040

平成26年度 生物多様性学術研究発表会　次第

◆開会　13：30～

◆発表　13：40～

（1）「トキとコウノトリのMHC領域のゲノム構造および遺伝的多様性の比較」
新潟大学農学部　　池乗　乃智

（2）「ユキツバキの系統地理解析　～佐渡のユキツバキの由来～」
新潟大学大学院自然科学研究科　　三浦　弘毅

（3）「トキファンクラブ会員における生物多様性等に配慮した農産物と
世界農業遺産に関する意識調査」
九州大学大学院生物資源環境科学府　　楠戸　　建

（4）「『朱鷺と暮らす郷づくり認証米』の販売者アンケートを活用した消費者の意識調査」
徳島大学工学部　　石原　公貴

（5）「稲作と酪農を基礎とした『生き物と共生する島』のモデル形成に関する研究」
日本獣医生命科学大学応用生命科学部　　太田　志穂乃

（6）「環境要因による相乗的生殖機能抑制
――ストレスとネオニコチノイド系農薬の複合影響評価」
神戸大学大学院農学研究科　　平野　哲史

（7）「佐渡市における生物多様性保全政策とエコツーリズムの展開
――環境保全と観光政策をめぐって」
中央大学法学部　　加藤　成貴

（8）「佐渡島における放鳥トキの食性解析と餌生物の環境選択性」
新潟大学大学院自然科学研究科　　田野井　翔子

（9）「棚田ビオトープにおける環境の時空間的変動について」
新潟大学農学部　　山田　　協

（10）「佐渡島沿岸に生息する海産カジカ科魚類の特異な繁殖戦略についての研究」
新潟大学大学院自然科学研究科　　上松　沙織

（11）「佐渡島固有種サドガエル（Rugosa sussura）の集団構造と生息適地の推定」
東京大学大学院農学生命科学研究科　　山中　美優

◆閉会　15：50～